



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,751	△2.8	271	△8.4	342	△5.2	237	△6.0
2020年3月期第1四半期	4,885	△0.8	296	△9.3	361	△5.2	252	△4.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 452百万円 (41.3%) 2020年3月期第1四半期 320百万円 (137.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 53.44	円 銭 -
2020年3月期第1四半期	56.82	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	25,895	17,264	64.4	3,755.11
2020年3月期	25,404	16,900	64.1	3,669.20

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 16,672百万円 2020年3月期 16,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 -	円 銭 19.00	円 銭 -	円 銭 19.00	円 銭 38.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	19.00	-	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,800	△10.1	436	△36.7	503	△33.7	350	△34.4	78.83
通期	19,640	△8.4	875	△35.7	1,016	△32.5	700	△32.4	157.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,450,000株	2020年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	9,961株	2020年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,440,039株	2020年3月期1Q	4,440,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、世界各国で都市封鎖や移動制限が行われるなど混乱を極める中、我が国でも4月に緊急事態宣言が出されるに至り、その後宣言は5月に解除されたものの、経済活動は全面的な停滞に陥り、四半期実質GDPは、3四半期連続かつ大幅なマイナス成長となる見込みです。

鉱工業生産指数は、2月以降前月比減少が続きました。自動車、生産用機械が大幅減産となったほか、幅広い業種で減産が進みました。

世界経済の変調で我が国からの財輸出は低迷しています。半導体市場の底入れや中国向け持ち直しの兆しはありましたが、自動車を中心に米欧向けが大幅減となったほか、中間財・資本財の輸出が減少しました。かつては景気牽引の役割を期待されたインバウンド需要は、4月以降ほぼゼロが続いています。企業業績全般は、5G、テレワーク関連需要など一部に増収要因はあったものの、減収が、飲食・宿泊・サービス業から非製造業全般、輸出企業を中心とした製造業にも拡大、4月以降一段と下振れして、4～6月期経常利益は5四半期連続の減益となることが予想されています。

雇用環境は、3月以降新規求人数が急減、総雇用者数が減少に転じ、大きな雇用削減は顕在化していないものの休業者が増加しています。こうした雇用所得環境の悪化と外出自粛などで、3月以降小売売上高は前年割れが続きました。

輸出の大幅な減少と個人消費の下振れが、景気の大きな下押し要因として作用しました。緊急事態宣言の解除後、外出自粛は緩和されたものの、世界での新型コロナウイルス感染症流行は収まらず我が国でも再拡大の恐れもあり、このまま経済活動が正常化に向かうことができるのか、全く不透明です。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であり、我が国経済活動の低迷の影響は当然当社グループの業績に及びました。当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は4,751百万円で前年同期に比して134百万円の減収でした。損益では、営業利益271百万円(前年同期比24百万円の減益)、経常利益342百万円(同18百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益237百万円(同15百万円の減益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

## ○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第1四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期を6.2%下回りました。合成樹脂、化学薬品、製粉、砂糖・甘味といった太宗品目が大きく減少したほか、前年同期並みだった米麦袋、その他食品用途を除き、すべての用途で前年同期を下回りました。重包装袋の原紙価格については、大きな変動はありませんでしたが弱含みで推移しました。

当社の売上数量は前年同期比△5.6%で、業界と同様に、合成樹脂、化学薬品、砂糖・甘味の用途は大きく減少しましたが、製粉、塩の用途は増加しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、前年減らした塩の復活と、セメント袋を伸ばしたことで、前年同期比+1.8%の微増でした。タイ昭和パックス㈱の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、前年は中国景気減速の影響で大きく減らしたところ、当期は新型コロナウイルス感染症の影響が生産活動に及ぶことを危惧した顧客が早めの在庫積み増しに動いたため、売上数量は前年同期と比べ13.4%の大幅増となりました。山陰製袋工業㈱は、当第1四半期連結累計期間(1～3月)は顧客の減産が本格化する前で、売上数量は前年同期比1.8%の減少にとどめました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は3,009百万円で、前年同期に対し3.9%の減収となりました。

## ○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用ともに減少となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格はナフサ価格の変動を受けて値下がりしました。

当社の売上数量は、産業用が減少、農業用は増加で、合計では前年同期比△2.8%でした。産業用で熱収縮包装フィルム「エスタイト」、農業用でハウスフィルム「バーナル」が増加しました。前年増加した産業用の広幅ポリエチレンフィルム、アスベスト隔離シートは減少しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は836百万円で、前年同期に対して2.4%の減収となりました。

## ○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、化学工業品、合成樹脂、窯業土石品用途が増加、食品用途が減少で、全体では前年同期から増加となる見通しです。海外からの輸入量の全体は前年からほぼ横ばいの範囲です。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比+9.5%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は増加、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は前年同期から減少しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は406百万円で、前年同期に対して2.3%の増収となりました。

## ○不動産賃貸

賃貸契約内容に変動はありません。当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は前年同期から横ばいの64百万円でした。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は25,895百万円で、前連結会計年度末に比べて491百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金243百万円、棚卸資産223百万円および投資有価証券663百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金509百万円です。

## (負債)

負債合計は8,630百万円で、前連結会計年度末に比べて127百万円増加しました。主な増加要因はその他の流動負債481百万円および繰延税金負債203百万円、主な減少要因は電子記録債務166百万円、賞与引当金179百万円および営業外電子記録債務111百万円です。

## (純資産)

純資産合計は17,264百万円で、前連結会計年度末に比べて363百万円増加しました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益237百万円およびその他有価証券評価差額金458百万円、主な減少要因は剰余金の配当84百万円および為替換算調整勘定233百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると減収減益の結果となりましたが、タイ昭和パックス㈱が増収となったこと、原材料の価格環境、経費の圧縮が連結業績を下支えしました。ただ、タイ昭和パックス㈱も第2四半期以降は減収が確実視され、原材料価格は変動含み、新型コロナウイルス感染症流行の収束気配はまだ見えません。その状況次第で当社グループの業績も変動するリスクがありますが、当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、当初の予想(2020年5月12日発表)を変更せず、連結売上高19,640百万円、連結経常利益1,016百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,235,723	7,478,926
受取手形及び売掛金	6,003,999	5,494,522
電子記録債権	522,708	469,079
商品及び製品	1,202,291	1,424,247
仕掛品	105,752	118,141
原材料及び貯蔵品	989,542	978,922
その他	288,298	191,608
貸倒引当金	△10,467	△10,062
流動資産合計	16,337,848	16,145,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,916,769	7,898,695
減価償却累計額	△5,926,809	△5,915,785
建物及び構築物（純額）	1,989,959	1,982,909
機械装置及び運搬具	10,103,907	9,982,708
減価償却累計額	△8,973,663	△8,924,450
機械装置及び運搬具（純額）	1,130,243	1,058,257
土地	891,929	877,322
建設仮勘定	193,078	305,662
その他	871,002	861,722
減価償却累計額	△776,770	△772,973
その他（純額）	94,232	88,749
有形固定資産合計	4,299,443	4,312,901
無形固定資産		
ソフトウェア	26,530	37,059
無形固定資産合計	26,530	37,059
投資その他の資産		
投資有価証券	4,181,323	4,845,194
退職給付に係る資産	422,976	427,006
繰延税金資産	53,698	55,327
その他	93,886	84,120
貸倒引当金	△11,434	△11,434
投資その他の資産合計	4,740,450	5,400,214
固定資産合計	9,066,424	9,750,175
資産合計	25,404,272	25,895,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,190,792	3,158,972
電子記録債務	1,223,755	1,056,940
短期借入金	1,092,000	1,091,000
未払法人税等	224,485	154,690
賞与引当金	384,641	205,193
役員賞与引当金	19,720	14,880
設備関係支払手形	19,245	27,588
営業外電子記録債務	150,689	39,466
その他	661,623	1,142,807
流動負債合計	6,966,952	6,891,539
固定負債		
長期借入金	88,000	88,000
繰延税金負債	667,265	871,076
役員退職慰労引当金	124,410	116,289
退職給付に係る負債	473,166	480,003
資産除去債務	4,467	4,467
長期預り保証金	169,727	168,893
その他	9,630	10,709
固定負債合計	1,536,668	1,739,439
負債合計	8,503,620	8,630,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	13,620,779	13,773,675
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	14,541,684	14,694,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,521,654	1,980,202
為替換算調整勘定	325,384	92,145
退職給付に係る調整累計額	△97,322	△94,113
その他の包括利益累計額合計	1,749,716	1,978,234
非支配株主持分	609,252	591,767
純資産合計	16,900,652	17,264,582
負債純資産合計	25,404,272	25,895,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,885,801	4,751,108
売上原価	3,941,772	3,872,758
売上総利益	944,028	878,349
販売費及び一般管理費	647,549	606,810
営業利益	296,479	271,538
営業外収益		
受取利息	550	816
受取配当金	60,438	61,218
その他	7,705	11,758
営業外収益合計	68,694	73,793
営業外費用		
支払利息	2,977	2,328
その他	280	60
営業外費用合計	3,257	2,389
経常利益	361,916	342,943
特別損失		
投資有価証券評価損	11,133	-
特別損失合計	11,133	-
税金等調整前四半期純利益	350,783	342,943
法人税、住民税及び事業税	88,866	94,294
法人税等調整額	△282	△1,850
法人税等合計	88,583	92,443
四半期純利益	262,200	250,499
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,895	13,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,304	237,257

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	262,200	250,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,372	458,105
為替換算調整勘定	62,273	△259,153
退職給付に係る調整額	△1,847	3,208
その他の包括利益合計	58,053	202,161
四半期包括利益	320,253	452,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,124	465,775
非支配株主に係る四半期包括利益	16,128	△13,115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,131,182	856,625	397,839	64,714	4,450,362	435,438	4,885,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,131,182	856,625	397,839	64,714	4,450,362	435,438	4,885,801
セグメント利益又は損失(△)	286,499	65,670	△13,367	31,756	370,558	20,739	391,297

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	370,558
「その他」の区分の利益	20,739
全社費用(注)	△94,818
四半期連結損益計算書の営業利益	296,479

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,009,559	836,124	406,817	64,166	4,316,667	434,440	4,751,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,009,559	836,124	406,817	64,166	4,316,667	434,440	4,751,108
セグメント利益又は損失(△)	239,879	64,010	△8,491	39,194	334,593	26,371	360,965

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	334,593
「その他」の区分の利益	26,371
全社費用(注)	△89,426
四半期連結損益計算書の営業利益	271,538

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。